

デジタル設備シミュレーションの実務適用とその効果

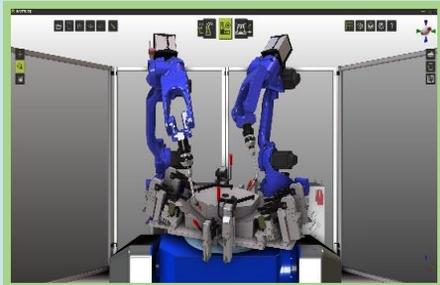
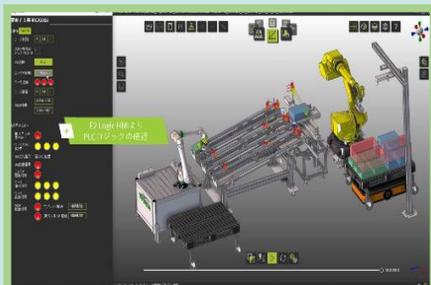
生産設備デジタル検証セミナー

デジタル設備シミュレーションの活用度合いによって、生産技術業務の効率化が大きく左右されると言われています。

仮想メカトロニクス検証は、生産設備のメカ設計者（機械設計者）およびエレキ設計者（制御設計者）の方にご使用いただけるソフトウェアツールです。外部のコントローラーと接続せずに、このソフトウェアだけで生産設備装置のロジック検証とモーション検証を同時に行うことができます。

仮想メカトロニクス検証

ロボットオフラインプログラミング バーチャルコミッショニング



今回のセミナー概要：

FASTSUITE Edition2製品が提供する仮想メカトロニクス検証からロボットオフラインソフトウェア、バーチャル試運転機能までの概要機能説明とユーザー活用事例をご紹介します。

デジタル設備シミュレーションの実現による成果として、下記の項目が挙げられています。

- ① 多品種、短納期、低コスト／自動化生産システムの構築を支援します。
- ② 不具合の早期発見に貢献、フレキシブルで最適化された生産工程の適用を可能にします。
- ③ 革新的なものづくり技術を生み出すリアルとバーチャルの連携を実現します。

開催情報

開催場所	： 北上オフィスプラザ 2F セミナールーム（岩手県北上市相去町山田2-18）
開催日時	： 2024年7月23日（火）13:30～15:30（13:00受付開始）
定員	： 20名 ※先着順
参加費	： 無料
講師	： 株式会社テックスイートジャパン、株式会社アルゴグラフィックス

お申し込み方法

ホームページ(<https://kop.jp/ide/>)の受講申込フォーム、または裏面の申込書をFAXにてお申込み下さい。

デジタル設備シミュレーションの実務適用とその効果 生産設備デジタル検証セミナー 参加申込書

セミナー内で紹介予定のデジタルファクトリー製品「FASTSUITE Edition 2」

基本情報

1) リソースビルダー

ロボット、加工機、コンベア、治具などの生産設備は、スケルトンテンプレートを使って効率的にデジタル設備モデルとして定義され、カタログ化が可能。デジタル設備モデルは、3D形状だけでなく、キネマティクス、メカニカルアダプター、電気リカルアダプターで構成され、高パフォーマンスシミュレーションのために軽量化・簡略モデルとしてサポート

2) レイアウトビルダー

デジタル設備モデルを使ってワークセルやライン全体のレイアウト設計・検討を行うツールです。ロボット1台の単一セルから複雑な自動化生産ラインに至るまですべてのデジタル設備モデルを論理的に結合。ピック&ドロップのロボット教示、シミュレート機能や到達性検討などの設備成立性検討も可能。

3) オフラインプログラミング

ワークピースに加工技法を定義するという「プロセスジオメトリ」の考え方を採用しており、加工対象の3Dデータを利用してロボットや加工機の動作を定義し、シミュレーション検証を行います。ロボットアーム先端に取付けられたガンツール情報から合致する加工技法が自動的に選択され、動作軌跡の最適化・自動化が可能となります。

■申込締切日：2024年7月17日(水) 必着

会社名			
所属・役職	受講者名		
連絡先	〒 - (住所)		
	TEL	FAX	
	メールアドレス		@

お客様の個人情報は、本セミナーの案内や関連する情報提供において、いわてデジタルエンジニア育成センター、各協力関係機関、講師の株式会社テックスイートジャパン、株式会社アルゴグラフィックスで利用させていただきます。

■お問い合わせ先 いわてデジタルエンジニア育成センター（平日8：30-17：15）

岩手県北上市相去町山田2-18 北上オフィスプラザ内

TEL：0197-62-8080 FAX：0197-62-8081 Mail：iwatedeinfo@iwate-de.jp